

## 国際会議に行こう～第6回

# LAWASIA2017東京大会

(2017年9月18日～21日開催予定)に参加しよう!  
～2016スリランカ大会に参加して～

当体会員 業務支援室国際担当嘱託 森田 裕子 (66期) ●Yuko Morita

### 1 初心者こそ、是非、東京大会へ!

「国際会議に少しは興味があるけど、参加したことがない」「そもそも、どうやって参加すればいいかわからない」。そんな皆様に朗報です。来年、LAWASIA2017東京大会が開催されます(LAWASIAについては、前LAWASIA会長の鈴木五十三先生がお書きになった7月号の本連載をご覧ください)。

私は、本年8月12日～15日まで、業務支援室国際担当嘱託として早稲田会長に同行し、LAWASIA2016スリランカ大会に参加しました。私は即独2年目ですが、まだ期が浅い方も、是非、二弁や日弁連の援助を利用して、LAWASIA東京大会で国境を越えた活躍の場を開拓していきませんか?

以下、申込みから実際に参加するまでの流れを、スリランカ大会を例に紹介します。他の国際会議も大まかな流れは似ているようなので、LAWASIA以外の国際会議に興味ある方への参考にもなれば幸いです。

### 2 参加すると何がいいのか?

LAWASIAの年次大会は登録費用だけで十数万円(IBAなどは20万円以上)かかります。海外渡航・宿泊費も別途必要です。しかし、このような費用を負担してまで集まる参加者は、国内外でそれなりの経験や熱意をお持ちの方々です。そのような人々と交流することは、自身の新たな可能性やモチベーションを見つ

ける機会になると思います。そして、何回か参加することで親しくなり、新たな業務につなげている方もたくさんいると聞いています。

幸いなことに、東京大会なら渡航・宿泊費は不要ですし、登録10年目程度までなら、二弁や日弁連の登録費用援助制度も利用できます。是非、新たな活躍の場を開拓するきっかけにしてください。

### 3 どうやって参加するのか?

#### (1) 二弁・日弁連の援助制度に申し込む

年に1～2回、若手参加費用援助の募集があります。募集時期が近づくと二弁eニュース等で告知が出ます。国際委員会の幹事になれば、いち早く情報を入手できます。

#### (2) 参加登録する

開催2か月前くらいからLAWASIAのHPにて申込みができます。LAWASIA会員割引、若手割引、early bird(早期登録)割引など、様々な割引があります。私は、会員割引とearly bird割引を併用しました。料金に含まれている主な費用は、セッション参加費用、13日～15日のランチ、12日～14日のディナー、各セッションの間のコーヒー等です。渡航・宿泊費等は別です。

#### (3) 航空券等を手配・ビザを取得する

全日程参加する必要はないので(そのかわり、途中参加・退出の返金はありません)、自分のスケジュールに合わせて手配します。スリランカはビザが必要なので、忘れずに申請しました。

#### (4) 現地に着いてからすること

空港から会場のホテルまでの移動は自力です。大会事務局で有料の空港送迎サービスも用意されていましたが、それも申込みは自分でしなければなりません。私は、空港についてから現地のタクシーを利用しました。会場についたら、受付で名前を告げて、会議セットをもらいます。特に、IDカードは、会場や食事会場等へ出入りする際に必要なので、常に携帯するようにしました。

### 4 セッション

12日は開会式等のみで、本格的なセッションは13日から始まり、同時時間帯に1時間半から2時間のセッションが3つずつ行われました。興味があるものを通して聴く人や、一通りはしごをする人など、参加者の思い思いのスタイルで聴講します。

例えば、私が初日に聴講したADRのセッションでは、国・地域が異なる5人のスピーカーが10分程度ずつプレゼンをして、その後、簡単な質疑応答をするという流れでした。スピーカーによっては英語の発音が独特だったり、早口だったり、内容についていくのが大変なときも多々あります。興味があるセッションは録音して後から聞くようにすれば、当該分野の語彙力アップにつながるし、勉強にもなります。紙レジュメの配布もありましたが、荷物になる上、会議セット付属のUSBメモリやHPから入手できるので、私はあえて受け取りませんでした。

スピーカーが話をするセッションのほかに、ムート・コートといって、各国のロースクール生がトーナメント方式で戦う模擬裁判を観戦するセッションもあります。毎回白熱し、大勢の聴衆でにぎわうムート・コートは来年の東京大会でも行われる予定です。

### 5 各種イベント、交流の機会

初日にはバンダラナイケ記念国際会議場という立派な会場で、大統領を招いての開会式がありました。

ランチやディナー、コーヒーブレイクの時間は、他国の法律家と気軽に交流できる機会です。

最初は緊張しますが、思い切ってこちらから話しかけたり、逆に話しかけられたり、徐々に慣れていきます。ディナー会場では、華やかな民族衣装を着た弁護士も多く、和服を着ている日本人の先生も複数いらっしゃいました。

今回、来年の東京大会のPRのために、初日のレセプションディナー時に日本酒やお茶をふるまったり和太鼓の演奏をしたり、2日目からはセッション会場横にPRブースを出して、東京の観光案内や折り紙などを展示・配布したところ、非常に多くの外国人が立ち寄り興味を示していました。

### 6 アテンド任務

二弁の援助を受けると、報告書のほかに、会長アテンド等の任務を依頼されることがあります。今年は、JETROコロボ事務所の表敬訪問に同行しました。最前線で奮闘されている所長の話はとても新鮮で刺激的でした。昨年のシドニー大会では、当時の三宅会長とシンガポール弁護士会会長との会合や、現地の弁護士会主催の会長歓迎クルーズに同行した参加者もいました。登録数年足らずでも、二弁の制度を使えば、そのようなトップの交流に立ち会うという貴重な経験もできます。

### 7 二弁国際委員会・日弁連大会組織委員会にも入ろう!

東京大会に向けて、二弁も開催地の単位会として、国際委員会を中心に今後準備を進めていきます。また、日弁連の組織委員会も慢性的な人員不足です。国際委員会・組織委員会に入れば、会内・他会のネットワークも広がります。こちら、是非ご検討ください。 罫



ありがとうコロボ、東京で会いましょう